

2025年度 園全体自己評価表

	行事 について	職員研修について	保育内容の公表/情報提供について	保育内容について
今年度の評価点	季節に合わせた行事や製作を毎月行う事ができた。0歳1歳2歳各クラスの発達や興味関心に沿った活動内容を工夫して、子どもたちが意欲を持って取り組める内容となっていた。また「夏まつり、運動会、ハロウィン、クリスマス会、節分、お別れ会」などの慣例行事はマニュアル化して基本の枠組みを作ることによって担当者のアイデアや個性が発揮できるようになった。	キャリアアップ研修を受講する職員が大幅に増加し、乳児保育だけでなくアレルギーや衛生管理など多岐にわたって学ぶことができていた。これまで研修に参加できなかったパート職員も、オンデマンド研修やZoom研修を受けることができた。研修受講後は職員会議で研修報告を行い、知識の定着をはかるとともに職員への周知を図ることができた。	毎日の保育の様子をコドモンアプリ「ドキュメンテーション」を使って保護者へ配信することができた。写真だけでなく動画配信も行い、子どもたちの日々の成長を保護者と共有することができた。 季節の製作物を毎月玄関前に展示することで、地域の方々から保育園の活動に関心をもっていただく機会が増えている。	・子どもたちが主体となって活動を楽しむことができる行事や製作など、保育の工夫が多く見られた。 ・職員自らキャリアアップ研修に参加して自己研鑽する保育者が増え、保育の質向上を図ることができた。 ・衛生管理や清掃作業の周知により、どの職員も同じ手順や管理を行う事ができた。
今年度の課題点	さまざまな行事や活動の流れが確立された1年だったが、マニュアル化による安心感から行事計画書の提出に遅れが見られた。行事に必要な準備物の遅れや、プレ（予行演習）を十分にできない行事がみられた。	保育者一人一人の個性に合った研修プログラムの作成が必要であり、保育の質向上のために必要なスキルの明確化、及び研修の情報提供が必要。	・ホームページの更新や地域への情報発信不足。 ・パンフレットや園のアピールになる広報材料の不足。	・保護者からの相談にはその場で判断せず、悩みや思いを丁寧に聞き取り園長に報告する。園長はリーダー会議で対応を協議し、職員会議において園全体で受け止めることができるよう周知する。 ・発達に遅れが見られる子どもの対応には十分留意し、対応や援助を統一できるよう連携を強化する。
来年度の改善点	・子どもたちが行事を通じて経験する楽しさや満足感、達成感を考慮した計画を立て、担当者だけでなく職員全員で行事に携われるようにする。	職員の経験や能力に応じたスキルアップ目標を明確にするとともに、一人一人の目標達成に向けたスモールステッププログラムを構築する。	・ホームページの新規作成 ・SNSの効果的な活用 ・園紹介パンフレットの作成	・子どもたち一人一人の個性特性を理解し、個々の発達に即した援助や関りを行う。心の根っこを強く太く育むために、様々な体験や遊びを通して子どもたちの自己肯定感を育む。